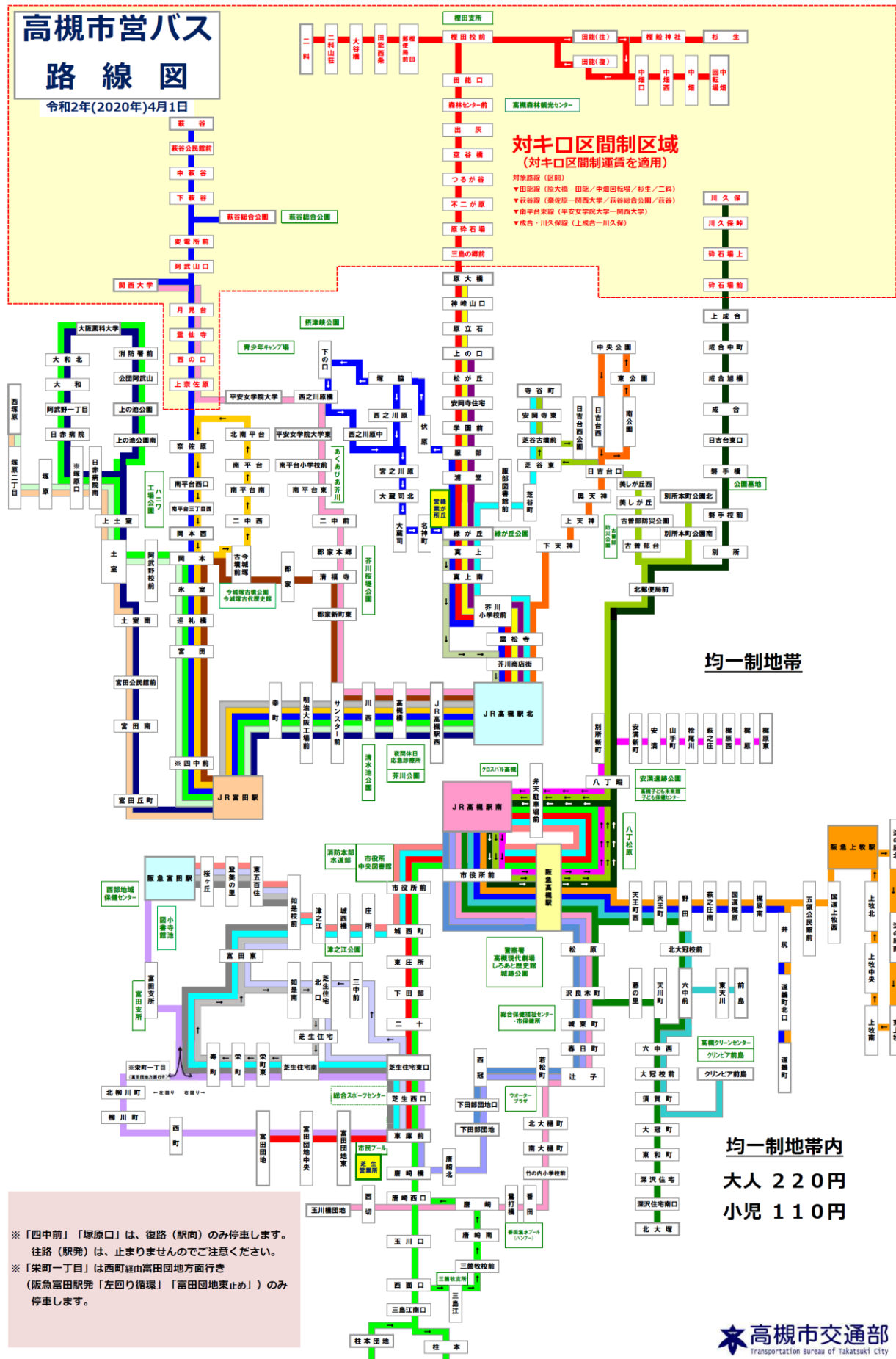


參考資料

(1) 市営バス路線図（令和2年4月1日現在）



(2) 自動車運送事業審議会開催概要

回	開催日	審議事項
令和元年度	第1回	令和元年7月26日 ①委員紹介 ②会長及び副会長の選出 ③会議の公開について ④諮問 ⑤前回審議会の答申概要について ⑥市営バスを取り巻く現状と課題について
	第2回	令和元年8月23日 ①現行経営計画における取組状況と今後の課題について ②OD データ等に基づく現状分析について
	第3回	令和元年9月27日 ①OD データ等に基づく全24路線の概要について ②路線及びダイヤの見直しについて（重点課題路線）
	第4回	令和元年11月1日 ①市営バス路線等の今後の見直し方針（案）について ②収支状況の現状分析について ③将来収支予測について
	第5回	令和元年11月27日 ①将来収支予測について ②経営基盤の強化について
	第6回	令和元年12月25日 ①令和元年度 自動車運送事業審議会のまとめ ②答申書（素案）について
	第7回	令和2年1月17日 ①答申書（案）について
	第8回	令和2年2月10日 ①答申書提出 ②次年度以降の審議会開催予定
令和2年度	第1回	令和2年6月10日 ①令和元年度高槻市自動車運送事業審議会答申書概要 ②市営バス次期経営戦略（案） ③今後のスケジュール（案）
	第2回	令和2年7月29日 ①市営バス次期経営戦略（案）について ②今後のスケジュール（案）

(3) 審議会委員構成

(敬称略・50音順)

氏名	ふりがな	職名	備考
井上 学	いのうえ まなぶ	立命館大学客員協力研究員	副会長
我那覇 篤司	がなは あつし	公認会計士	
河崎 浩一	かわさき こういち	阪急バス株式会社 常務取締役	
北 建夫	きた たてお	高槻市観光協会 業務執行理事兼事務局長	
毛海 千佳子	けうみ ちかこ	近畿大学経営学部 准教授	
高橋 愛典	たかはし よしのり	近畿大学経営学部 教授	会長
寺前 明久	てらまえ あきひさ	高槻市シニアクラブ連合会 事務局長	
新美 英代	にいみ ひでよ	高槻商工会議所専務理事	
正岡 祥孝	まさおか よしたか	公募市民	
山本 新一	やまもと しんいち	高槻市コミュニティ市民会議 事務局次長	

(4) パブリックコメントの概要

本経営戦略のパブリックコメントを下記のとおり実施しました。

① 実施概要

項目	内容
募集期間	令和2年10月1日（金）～11月2日（月）
募集方法	直接持参・郵送・ファクス・市ホームページ（簡易電子申込ページ）
閲覧場所	交通部芝生営業所、交通部緑が丘営業所、行政資料コーナー、各支所、市立各公民館、各コミュニティセンター

② 実施結果

項目		内容
総意見数		158 件 直接持参 18 件、郵送 54 件、 ファクス 55 件、市ホームページ 31 件
提出者（団体）数		個人 79 人、団体 4 件
個別集計	路線再編関連【柱本・三島江線】	38 件
	路線再編関連【山間3路線】	14 件
	路線再編関連【他の既存路線】	8 件
	路線再編関連【新規路線】	8 件
	経済性と公共性確保の観点について	28 件
	施設関連の要望等	8 件
	高齢者無料乗車制度	14 件
	公営維持・民営化反対	12 件
	新型コロナウイルス関連	6 件
	経営戦略掲載の事業内容を推進する 上での要望	5 件
その他		17 件

(5) 用語集

ページ	用 語	解 説
9 他	生産年齢人口	年齢別人口のうち、生産活動の中心となる年齢層を指し、15 歳以上 65 歳未満の人口のこと 1990 年代をピークに減少が続けている
11 他	経常損益	営業損益に、営業外収益・費用等、企業の本業以外の財務活動による収益と費用も含めた損益のこと
17 他	OD データ	鉄道やバス等、公共交通機関の乗降人員データ。 OD データの O は Origin（出発地）、D は Destination（目的地）を表し、出発地と到着地の組み合わせごとの利用者数を表す
18 他	市街化調整区域	豊かな自然環境や農地等を守るとともに、無秩序な土地利用を防ぐため、市街化を抑制する区域のこと
20	土地区画整理事業	安全で快適なまちづくりを進めるため、新しい道路や下水道、公園等の公共施設の整備と宅地等の利用増進を図るもの
21 他	ゾーンバス	長距離の路線バス系統を整理して途中に乗り換え拠点を設け、市街地までの幹線バス（基幹バス）と末端部の支線バス（ゾーンバス）とに分けることによって、定時性の確保と車両の効率的運用を図るバス運行の仕組み
30	ホスピタリティ	人と人、人とモノ、人と社会、人と自然等の関わりにおいて、相手に不快感を与えないための最低限のルールであるマナーに「思いやり」を加えたもの。心からの丁寧なもてなし、歓待の精神
32 他	キャッシュレス決済	クレジットカードや電子マネー、口座振替を利用して、紙幣・硬貨といった現金を使わずに支払い・受け取りを行う決済方法
32 他	バリアフリー	障壁（バリア）を取り除くということ 元々は建築用語で、建物内の段差等、生活に支障となる物理的な障壁を取り除く意味合いで使用されていたが、現在では高齢者や障がい者等の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なバリアを含めた概念となっており、全ての人にとって日常生活の中で存在するあらゆる障壁を除去することを意味している
33	ネーミングライツ	公共施設等に名称を付与する権利（命名権）及びこれに付帯する諸権利等のこと 一般的にこれら権利を取得するスポンサー企業が支払う対価によって施設の管理・運営資金の一部となることから、利用者・企業・施設所有者にとってそれぞれメリットがある Win-Win-Win の関係構築とされている
34 他	インバウンド需要	外部（国外）からの需要、消費

ページ	用 語	解 説
38	小型モビリティ	自動車よりコンパクトで小回りが利き環境性能に優れ、地域の手軽な足となる1～2人乗り程度の車両のこと
38	デマンド交通	電話予約等、利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通のこと デマンドは「要求、要請」の意味で、路線定期型交通と異なり、運行方式、運行ダイヤ、発着地等、自由な組み合わせによって様々な運行形態が存在する。小型車で運行すればバスが入れないような狭い道でも走行可能であり、利用者がなければ走る必要はない
43	バスロケーションシステム	バスの現在位置等の運行状況を管理するシステム
45	M a a S	「Mobility as a Service」の略で、ICTを活用して交通をクラウド化し、マイカー以外のすべての交通手段によるモビリティ（移動）を1つのサービスにとらえ、シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念
47 他	モビリティ・マネジメント	地域や都市を「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩等を含めた多様な交通手段を適度に利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取組を意味するもので、一人一人の住民や一つ一つの職場組織等に、環境や健康等に配慮した交通行動を働きかけ、自発的な行動の転換を促していく取組
50	ポーターサービス	利用されるお客様へのアナウンスによる行先案内とトランクルームへ収納する荷物の受渡しを担当するもの
54 他	アセットマネジメント	元々の意味は、投資用資産の管理を実際の所有者・投資家に代行して行う業務のことで、ここでは投資用資産に限らず、施設等に関する総合的な維持管理の仕組みを指す
54 他	企業ガバナンス	企業経営を管理監督する仕組みを意味し、株式会社の場合、会社の所有者である株主の利益を最大限に実現できているかどうかを管理監督するシステム
55	デジタルサイネージ	屋外・店頭・公共空間・交通機関等の場所で、ディスプレイ等の電子的な表示機器を使って情報を発信するメディアの総称
63	テレワーク	情報通信技術を活用し、時間や場所の制約を受けずに柔軟に働く形態 「tele = 離れた所」と「work = 働く」をあわせた造語。在宅勤務、モバイルワーク、リモートワーク、フレキシブルワークプレイスとも呼ばれる
63	パンデミック	感染症や伝染病が全国的・世界的に大流行し、非常に多くの感染者や患者が発生すること

ページ	用 語	解 説
64	未処分利益 剰余金	貸借対照表の「純資産」の中の「利益剰余金」に属する科目で、利益剰余金のうち利益準備金と任意積立金以外のものをいい、過年度の利益の累積に当期の利益(損失)を加算した金額
65	PDCA	プロセス等を管理・改善する手法の一つで、Plan=計画、Do=実行、Check=評価、Action=改善という4段階の活動を繰り返し行うことで、継続的にプロセスを改善・最適化していく手法



TAKATSUKI



Since 1954

 **高槻市営バス**
Takatsuki City Bus